

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

招 集

令和 7 年 1 2 月 2 3 日（火）本会議休憩中 議場

出席委員（26名）

（委員長）渡 辺 穰 爾		（副委員長）大 下 哲 治	
安 達 卓 是	伊 藤 ひろえ	稲 田 清	今 城 雅 子
岩 崎 康 朗	岡 田 啓 介	奥 岩 浩 基	門 脇 一 男
国 頭 靖	田 村 謙 介	塚 田 佳 充	津 田 幸 一
徳 田 博 文	土 光 均	戸 田 隆 次	中 田 利 幸
錦 織 陽 子	西 野 太 一	又 野 史 朗	松 田 真 哉
森 田 悟 史	森 谷 司	矢 田 貝 香 織	吉 岡 古 都

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

浦林教育長

【総務部】藤岡部長 松本防災安全監

〔財政課〕金川課長 中村課長補佐兼総括主計員

【総合政策部】佐々木部長

【市民生活部】橋尾部長

【福祉保健部】塚田部長

【こども総本部】瀬尻部長

【経済部】若林部長

【都市整備部】伊達部長

【DX推進監】堀口DX推進監

【淀江支所】山浦支所長

【教育委員会事務局】長谷川局長

【上下水道局】下関局長

出席した事務局職員

毛利局長 田村次長 松田調整官 坂本庶務担当局長補佐

傍 聴 者

報道機関 1 社 一般 3 人

審査事件及び結果

議案第 1 1 8 号 令和 7 年度米子市一般会計補正予算（補正第 5 回） [原案可決]

議案第 1 1 9 号 令和 7 年度米子市国民健康保険事業特別会計補正予算（補正第 3 回）
[原案可決]

議案第 1 2 0 号 令和 7 年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第 4 回）
[原案可決]

議案第 1 2 1 号 令和 7 年度米子市後期高齢者医療特別会計補正予算（補正第 2 回）
[原案可決]

議案第１２２号 令和７年度米子市水道事業会計補正予算（補正第２回） [原案可決]

議案第１２３号 令和７年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第２回） [原案可決]

〜〜

午前１１時２３分 開会

○渡辺委員長 ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

それでは、先ほどの本会議において、当委員会に付託されました議案第１１８号から議案第１２３号までの６件を一括して議題といたします。

６件の議案について、総括質問の通告はありませんでした。

なお、分科会審査の担当部分につきましては、配付しております予算決算委員会分科会審査日程表及び審査担当表のとおりといたします。

分科会審査のため、暫時休憩いたします。

午前１１時２４分 休憩

午後１時５５分 再開

○渡辺委員長 予算決算委員会を再開いたします。

これより、議案第１１８号から議案第１２３号までの６件の議案について、各分科会の審査報告を求めます。

塚田総務政策分科会長。

○塚田総務政策分科会長（登壇） 総務政策分科会の審査報告をいたします。

当分科会の審査担当とされました議案４件について審査いたしましたので、その主な内容を報告いたします。

議案第１１８号、令和７年度米子市一般会計補正予算（補正第５回）について、若者・女性の活躍推進！米子未来人財・資源創造事業の事業内容説明が不十分なので、事業推進に当たっては、進捗に応じて随時議会に報告を求める、との意見がありました。以上、報告を終わります。

○渡辺委員長 なお、民生教育分科会長及び都市経済分科会長からは、特段、報告すべき事項はなかったとの報告を受けております。以上で、分科会長の報告は終わりました。

それでは、ただいまの分科会長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

別にないものと認め、質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許します。

錦織委員。

○錦織委員（登壇） 日本共産党米子市議団の錦織陽子です。

議案第１１８号、令和７年度米子市一般会計補正予算（補正第５回）について、反対の討論をします。本日、追加提案されました一般会計補正予算（補正第５回）は、国の物価高騰対策と令和７年度人事院勧告を踏まえた給与改定が主な内容です。提案された米子市の物価高騰対策は、生活保護世帯や子育て世帯に限定されているものの、物価高騰対策の予算や一般職の給与改定予算には賛成します。しかし、補正予算には市長や議員などの特別職の給与改定分も反映されており、厳しい暮らしを強いられている市民の状況では、現

状にとどめることが適当と考えるものであり反対します。また、この度は、中国電力から鳥取県を經由して4,000万円の原子力防災対策交付金が一般財源として盛り込まれています。中国電力からは、人件費の一部として、これまで県を通じて年2,000万円を交付されていますが、それとは別に今回、県と米子市と境港市の求めに応じて中国電力が拠出金を承諾しました。国が、原子力立地地域特措法の対象を30キロに拡大したのを受け、原発立地の島根県と同等のお金を出すよう中国電力に対し、鳥取県、米子市、境港市の3者で財政措置の適正化を求め、中国電力から新たに毎年2億円の核燃料税相当額と10年で9億円の弓ヶ浜半島震災対策費を出すとの回答を得たものですが、国が法の対象エリアを上げた背景は、福島原発事故を起こした東京電力柏崎刈羽原発の原発再稼働の後押しがねらいと原子力産業新聞は記述しています。お金を出す中国電力も、お金を出すから今後2号機のプルサーマルや3号機の稼働についても、つつがなく推進したいという思惑があつてのことです。このような誘導策に乗って、中電からお金をもらっているのでしょうか。先日も、2号機の核燃料棒が2本転倒したときには、正しい人員配置ができていなかったのに作業を進めたことがわかりましたが、次から次へと不祥事や事故がついて回っています。そもそも原発の稼働に対して、緊張関係をもって対応しなければならない自治体が、営利企業からお金を受け取ること自体、道理に合いません。

以上の理由で、議案第118号に反対いたします。以上です。

○渡辺委員長 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○渡辺委員長 別がないものと認め、討論を終結いたします。

これより、6件の議案を順次採決いたします。

初めに、議案第119号から議案第123号までの5件の議案を一括して採決いたします。本件について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○渡辺委員長 御異議なしと認めます。

よって、5件の議案は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

○渡辺委員長 次に、議案第118号、令和7年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）を採決いたします。

本件について、原案のとおり可決することに賛成する委員の起立を求めます。

〔賛成者起立…安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、大下委員、岡田委員、奥岩委員、門脇委員、国頭委員、田村委員、塚田委員、津田委員、徳田委員、戸田委員、中田委員、西野委員、松田委員、森田委員、森谷委員、矢田貝委員〕

起立多数でございます。

よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

午後2時00分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員長

事務局	
局長	主査